



## 学校が再開しました

先週の18日、約1か月ぶりに学校が再開しました。引き続き、新型コロナウイルス感染防止対策を十分に行いながら、学習に取り組んでいきたいと思っております。久しぶりの学校再開で、学校生活のリズムになかなか乗れない子どもたちの状況も見られましたが、徐々に元気な明るい表情が戻ってきました。これから暑さも日ごとに増してきます。子どもたちの体調管理に配慮しながら進めていきたいと思っております。

### ○茶摘みを行いました

先日の19日(火)、臨時休業で例年よりも遅くなりましたが、3密を考慮しながら、本校恒例の「茶摘み」を行いました。今年、新型コロナウイルス感染防止のため、規模を縮小し、「釜炒り・茶揉み」は今回最後となる6年生のみで行いました。

1年生は6年生に摘み方を教えてもらいながら、初めての茶摘み体験を楽しく行うことができました。

「釜炒り・茶揉み」の際には、PTA役員の方にもご協力いただき、西川さんのご指導のもと、お茶の香りに癒やされながら、「釜炒り茶」の活動を終えることができました。今回の茶葉は、11月以降に「うがい用」として、使用するようになっています。



### ○4年「音読発表会」・・・聞き手に気持ちを伝えよう

4年の国語の教科書に「想像したことを音読で表そう」という単元があります。

先日、国語の時間に「音読発表会」を行っていたので、その様子を見ました。「こわれた千の楽器」を読んで、それぞれの場面の楽器たちの様子や気持ちを想像し、そのことを聞き手に伝えるように、音読する活動でした。子どもたちはグループに分かれ、学習したことを振り返って、登場人物の気持ちの変化を捉えて、しっかりと音読ができていました。また、聞き手の子どもたちも、「気持ちが伝わっていました」など、よかったところをカードに書いていました。



そこで、音読にはこんな効果がたくさん！ということで、挙げてみました。

学校では、どの学年でも国語に限らず、教科書を声に出して読む「音読」を行っています。また、家庭学習としても取り組ませています。

この「音読」は、「黙読」と違って、文字を目で追いながら、声に出して正確に読まないといけません。文字を読み、声に出し、耳で聞くという活動を同時に行っているため、脳を活性化させてくれたり、音読の練習を続けることで、記憶力を高めたりする効果が期待できるとのことです。音読をすることで、子どもたちはたくさんの言葉に出会い、それらの言葉を獲得することによって、考える力も高まります。また、子どもたちの課題として指摘されている「読解力」についても、高まりやすくなります。ただ、実際に「音読」をしてみるとお分かりのように、頑張っても10分程度で疲れてしまいます。集中して練習することで集中力が高まり、練習を継続することで、上手になります。上手になれば自信をもって、学習に取り組むことができるようになります。

このように、「音読」にはたくさんの効果があります。是非、ご家庭での音読の際の声かけや励ましをお願いします。



## 6月の行事

- 1日(月) 体重測定(全)
- 4日(木) 職員研修会(全校5校時終了後下校)
- 8日(月) 委員会活動
- 15日(月) クラブ活動
- 25日(木) 全校朝会

※6月に予定されていた「歯科検診」「耳鼻科検診」「内科検診」は9月以降に延期となります。